

症例 1 解説

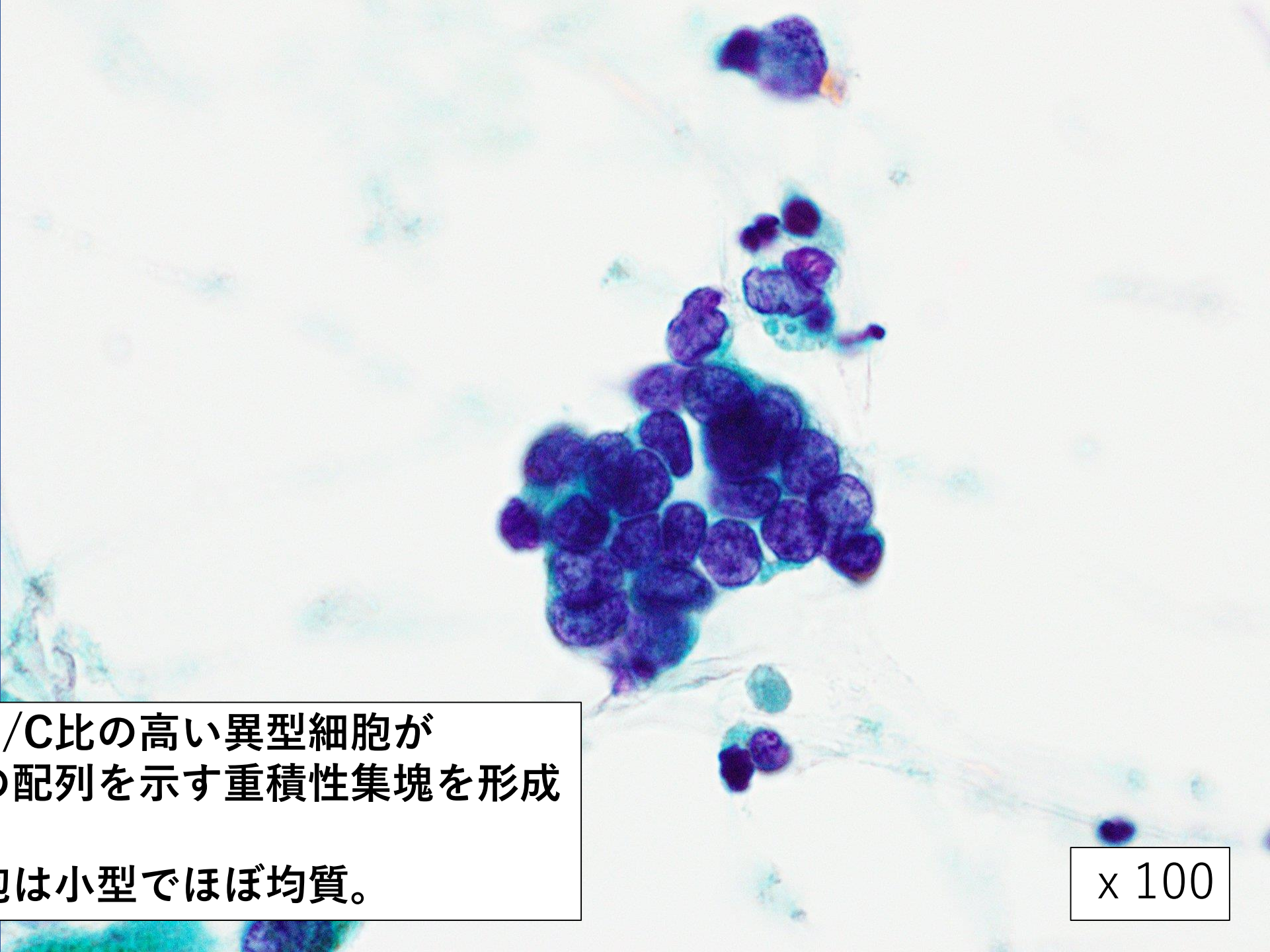
症例

- 60代女性
- 主訴：咳嗽
- 既往歴：2年前に他院にて子宮がん摘出
- 検査データ
 - CEA：3.0
 - SCC抗原：0.9
 - ProGRP：45.0

材料：気管支洗浄液（生検後）

選択肢

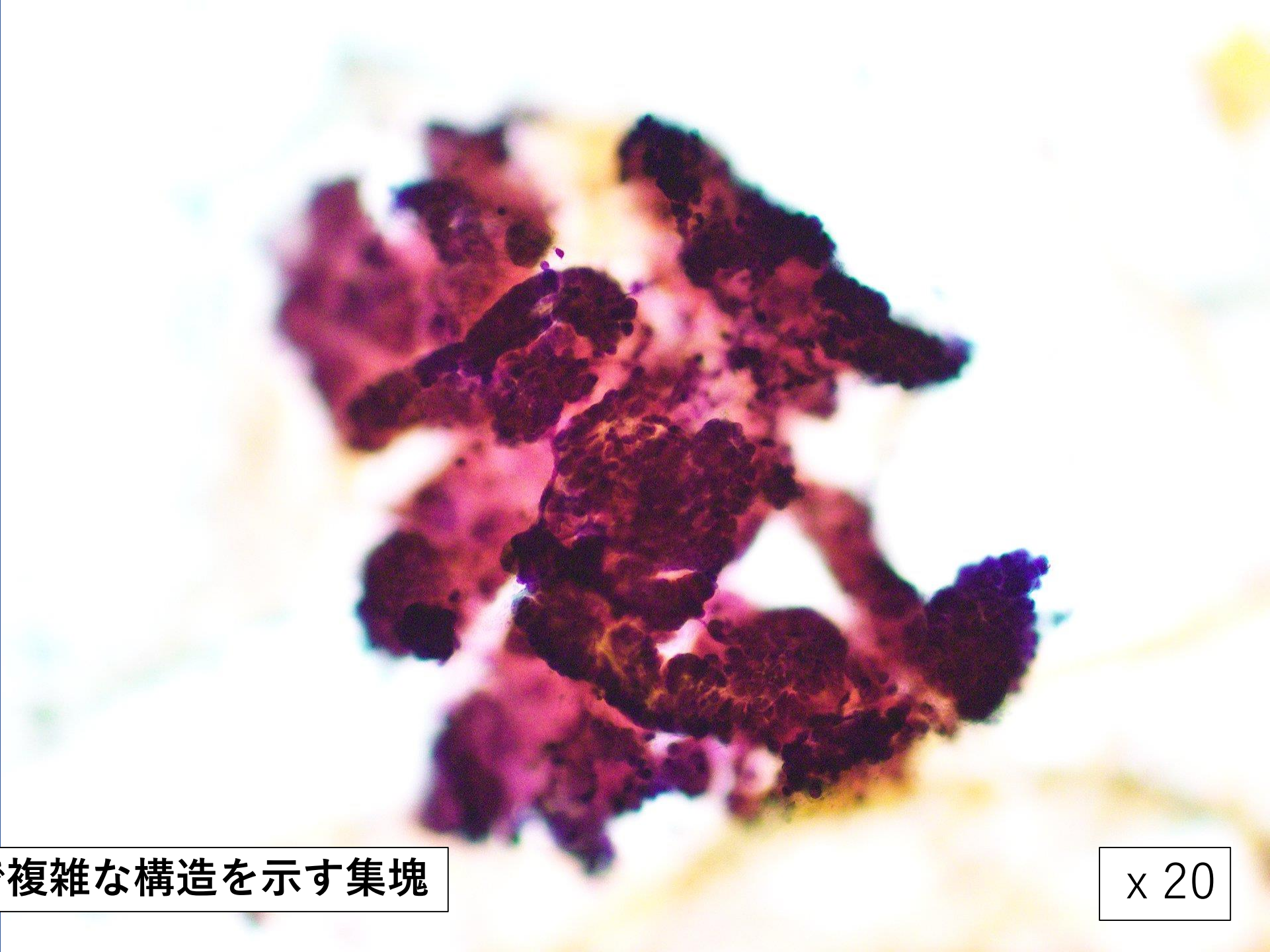
1. 肺原発癌（腺癌）
2. 肺原発癌（小細胞癌）
3. 転移性癌（子宮類内膜癌）
4. 転移性癌（子宮漿液性癌）
5. その他



小型でN/C比の高い異型細胞が
圧排状の配列を示す重積性集塊を形成

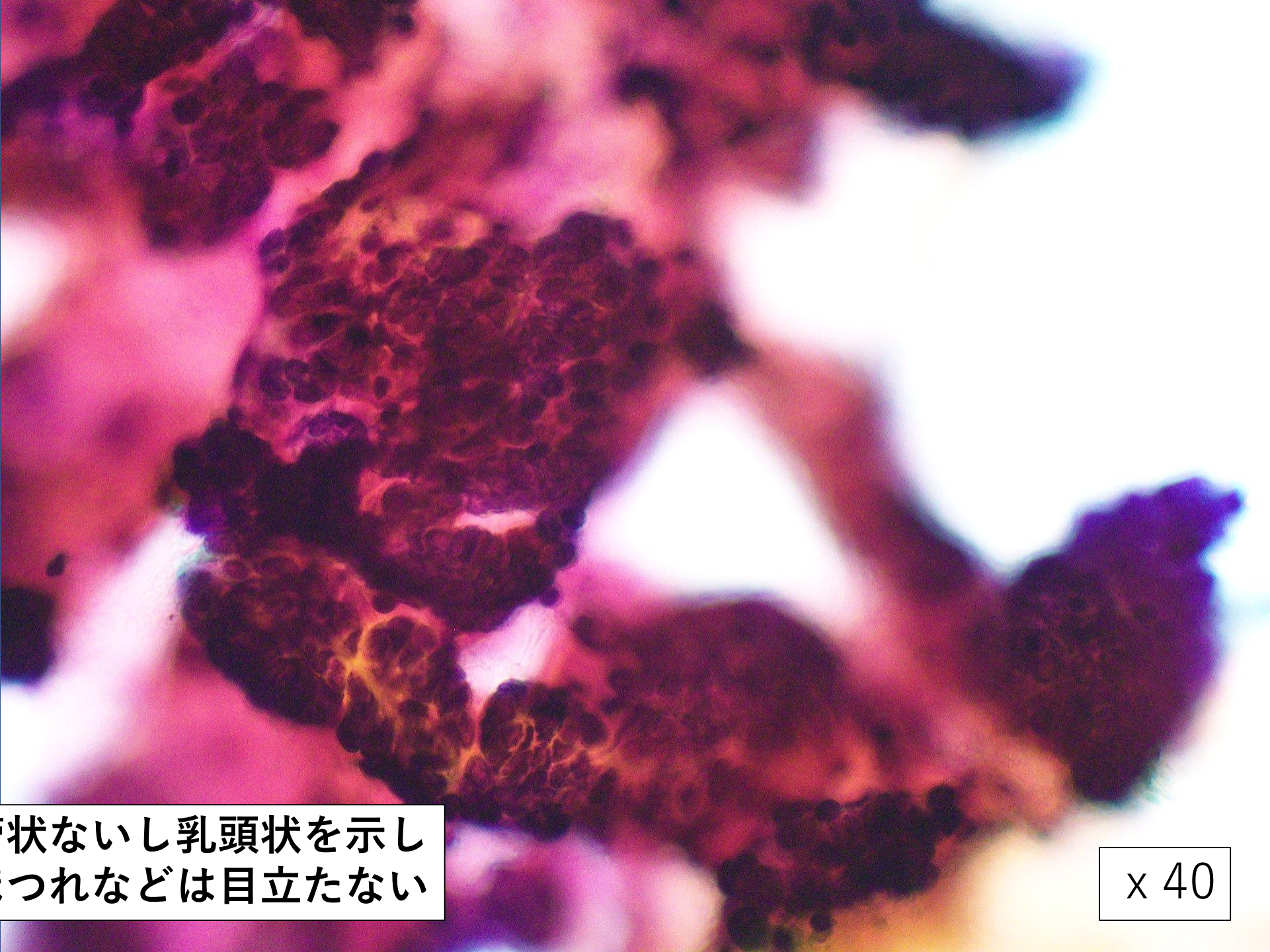
構成細胞は小型でほぼ均質。

x 100



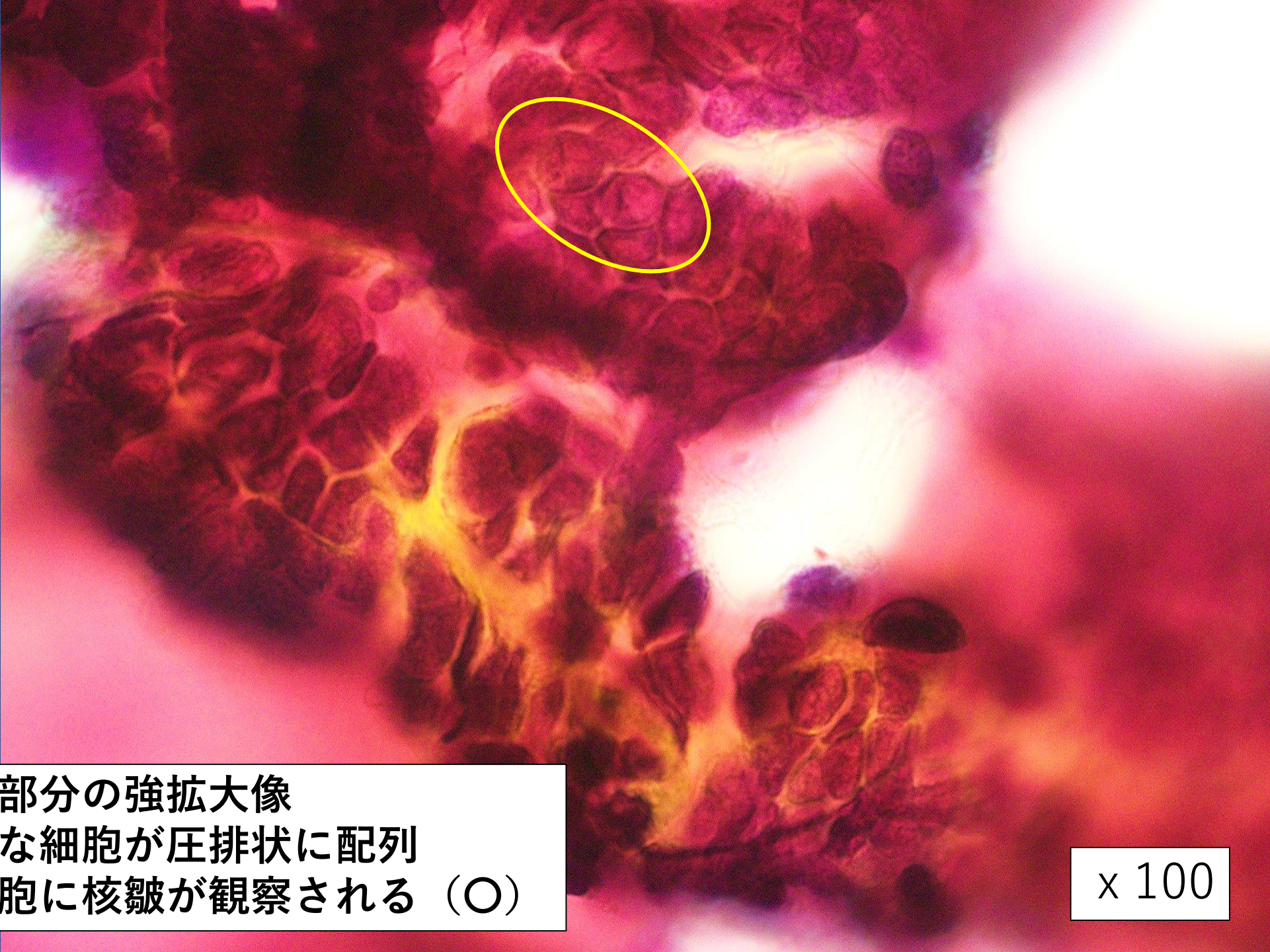
立体的で複雑な構造を示す集塊

x 20



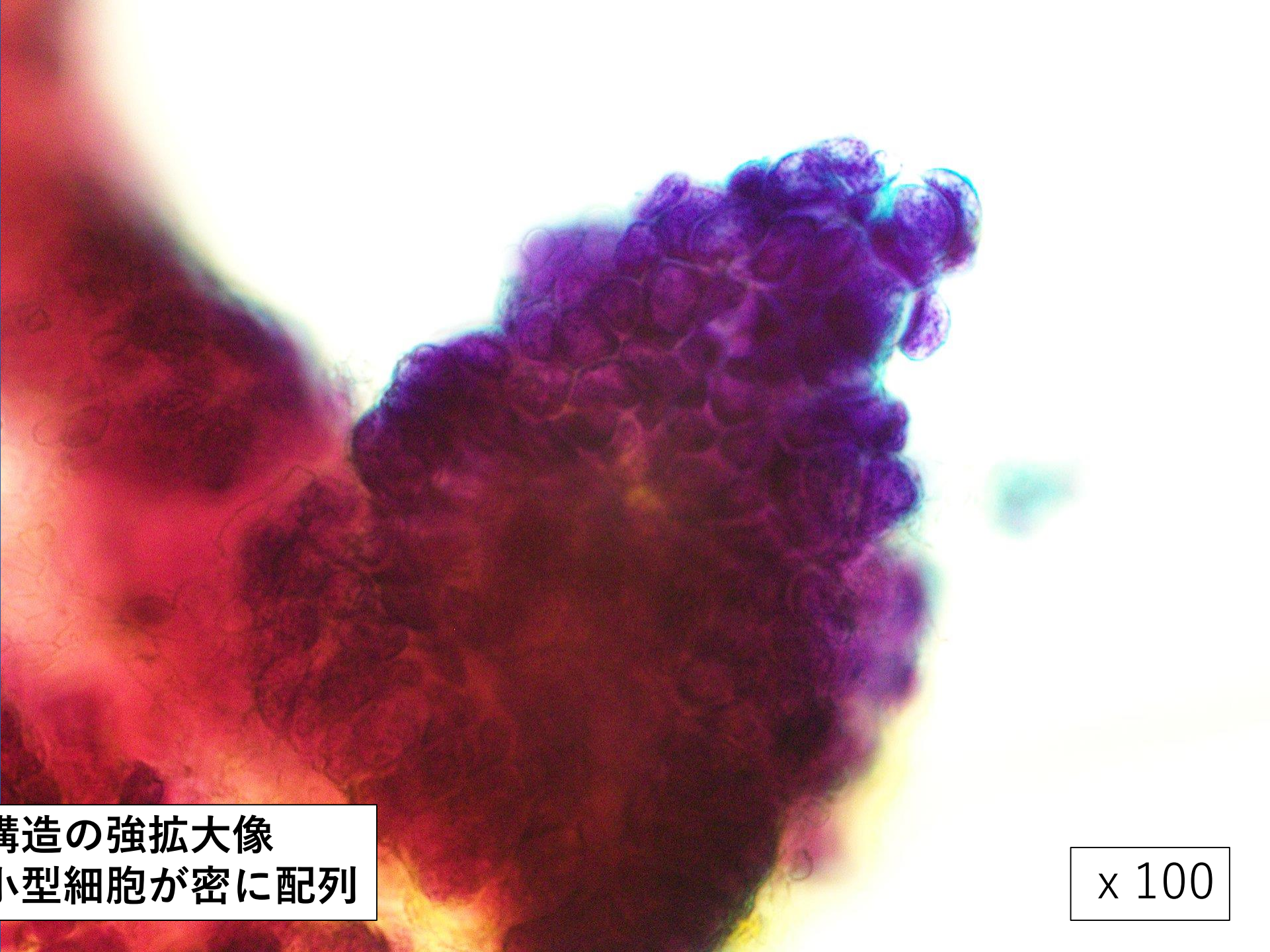
集塊は管状ないし乳頭状を示し
細胞のほつれなどは目立たない

x 40



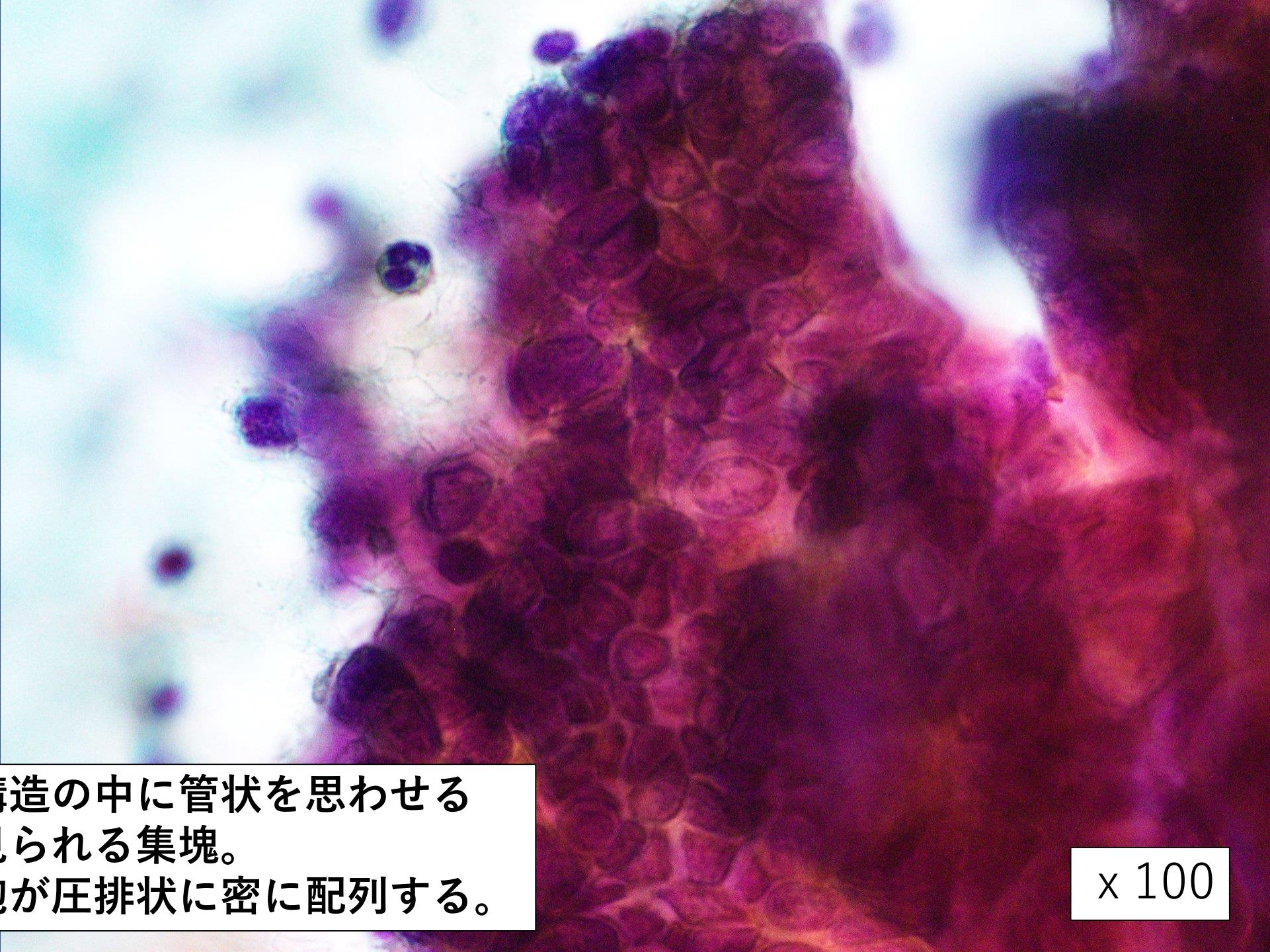
管状構造部分の強拡大像
小型均質な細胞が圧排状に配列
一部の細胞に核皺が観察される (○)

x 100



乳頭状構造の強拡大像
同様の小型細胞が密に配列

x 100



乳頭状構造の中に管状を思わせる
配列が見られる集塊。
小型細胞が圧排状に密に配列する。

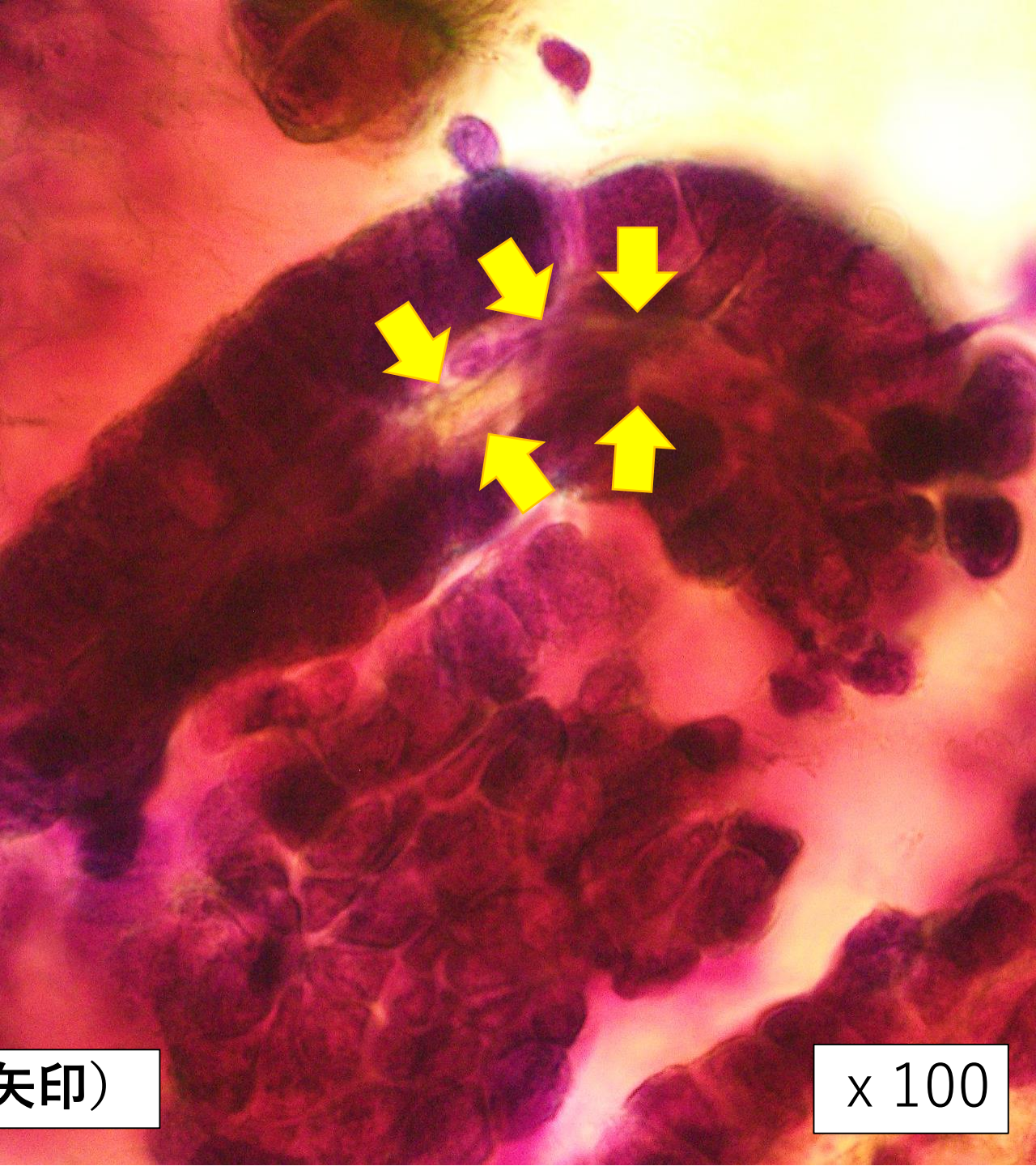
x 100

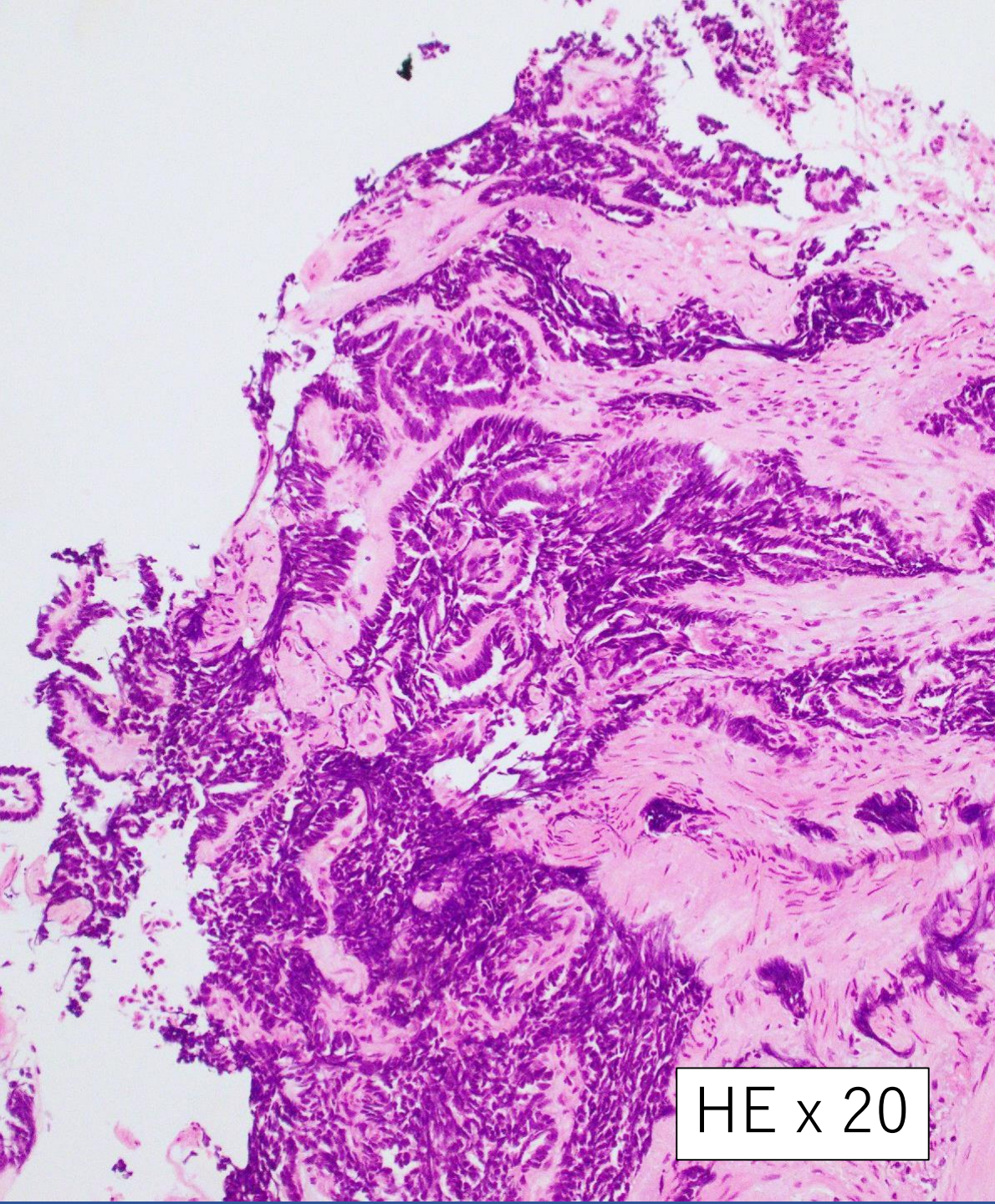
x 100



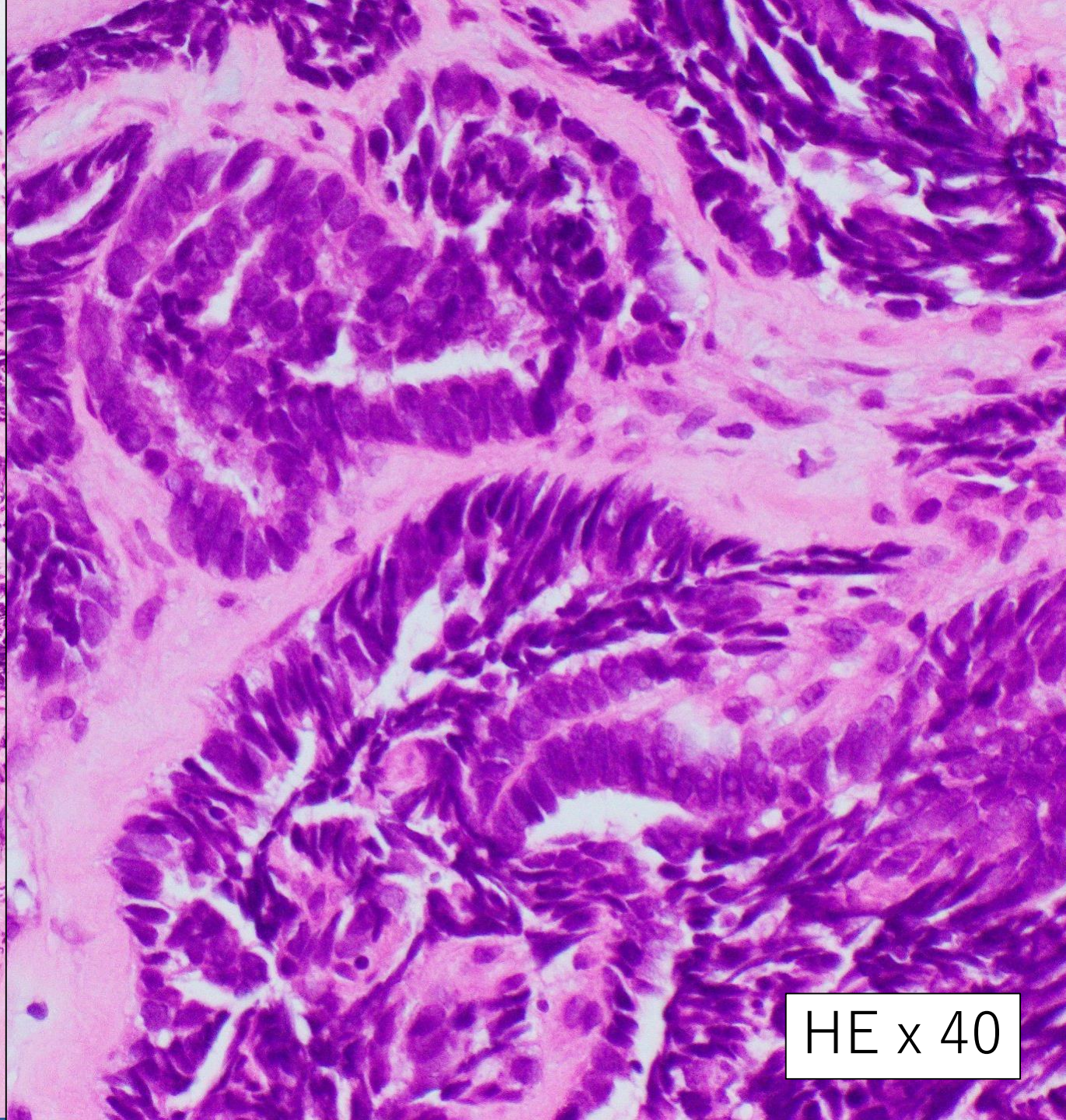
LG ないし OG好染性の好酸性無構造物（矢印）

x 100

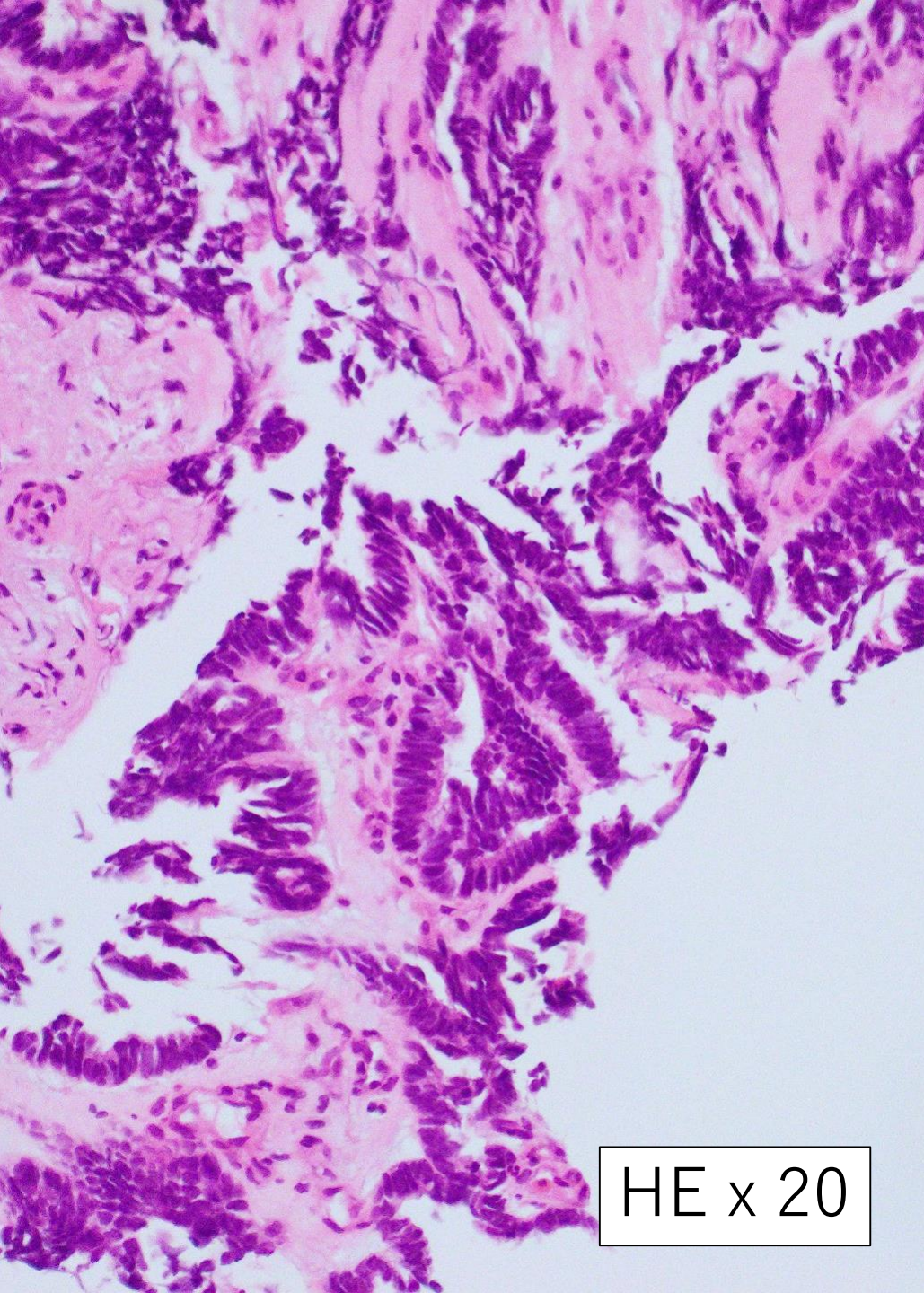




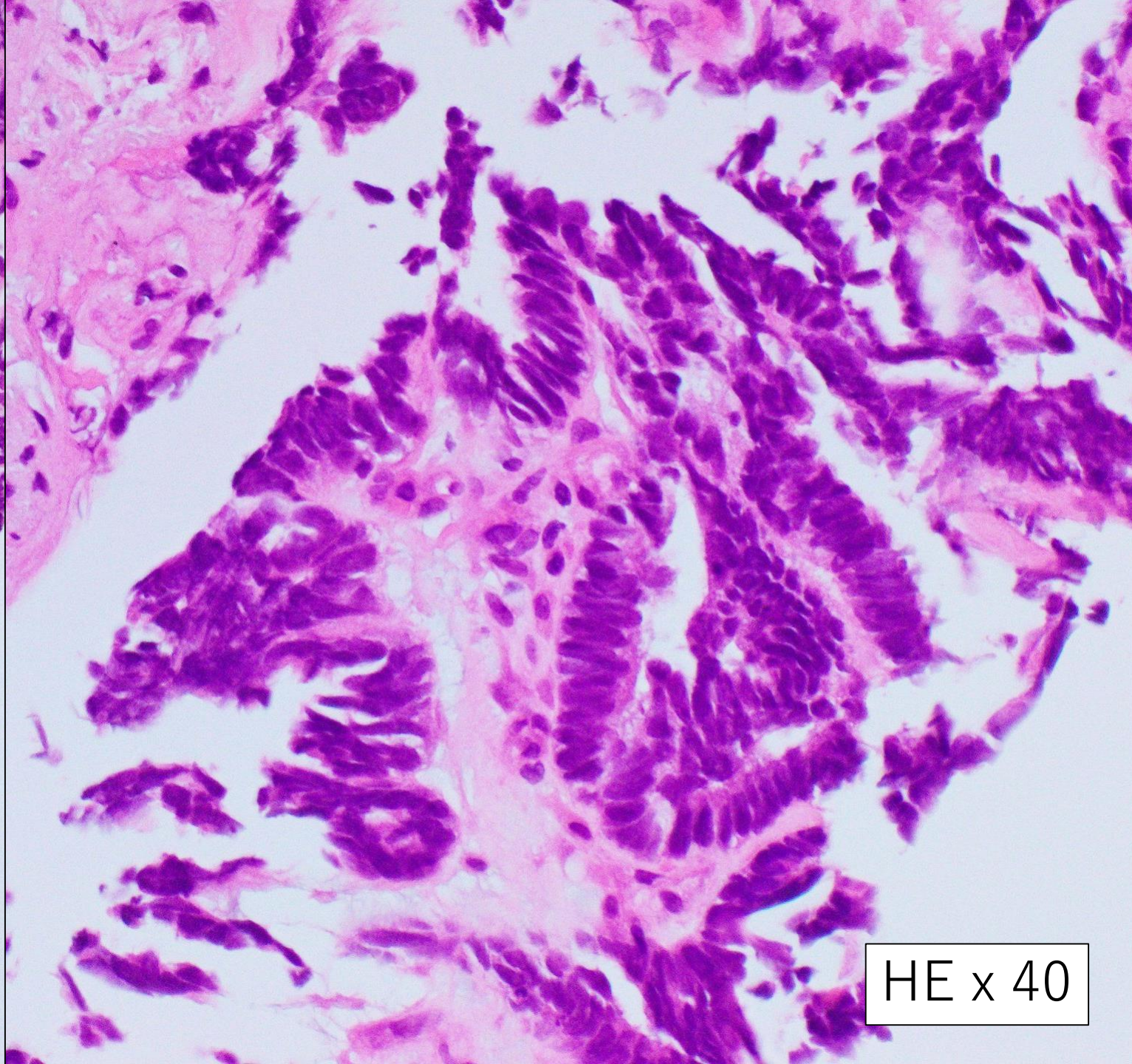
HE x 20



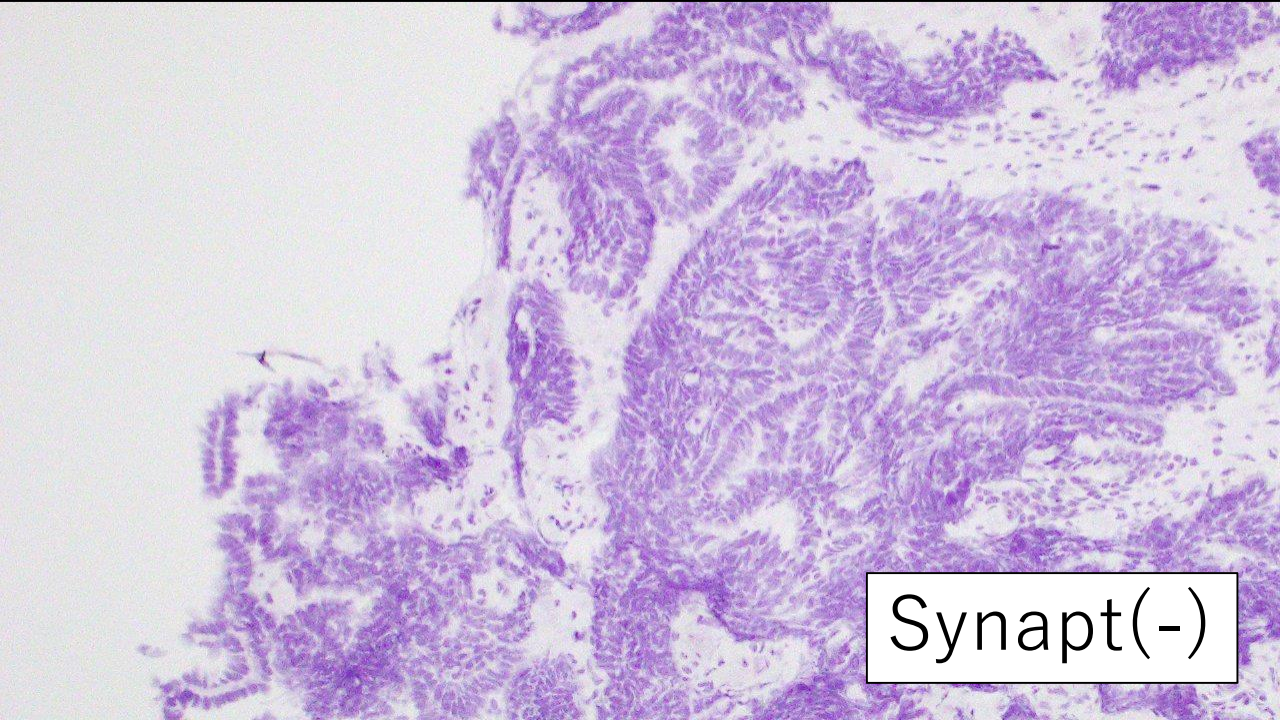
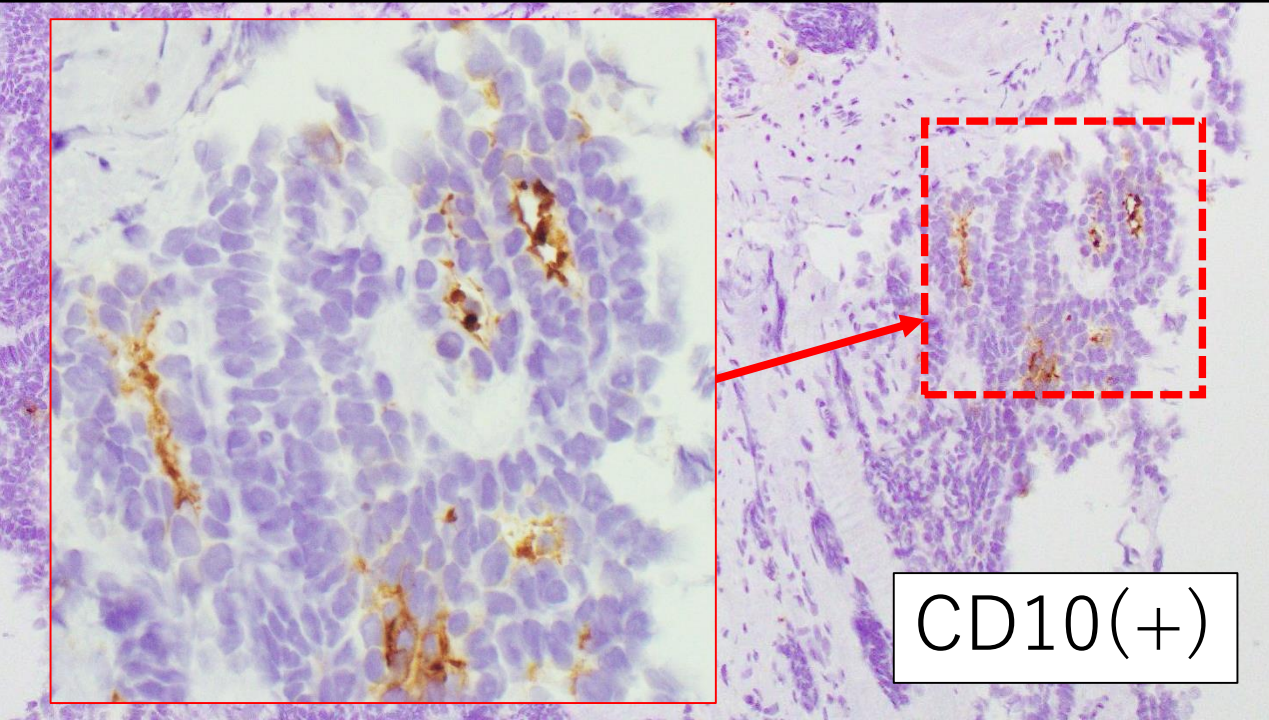
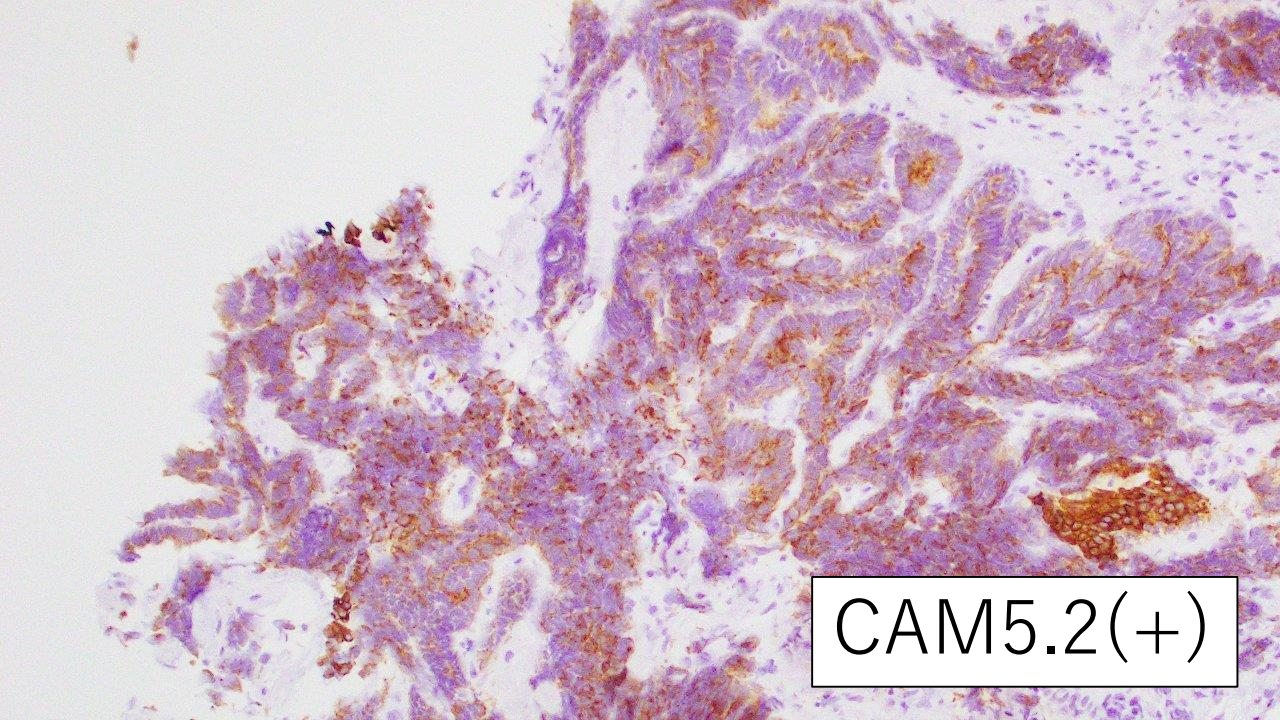
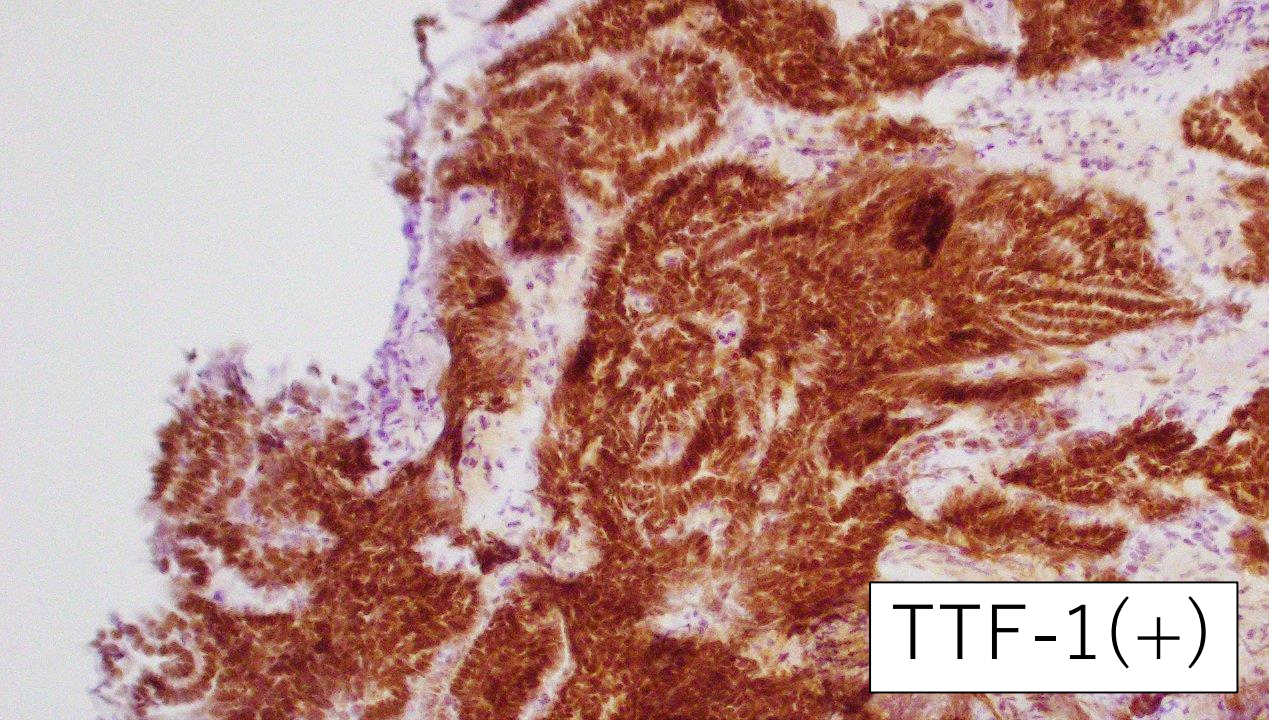
HE x 40

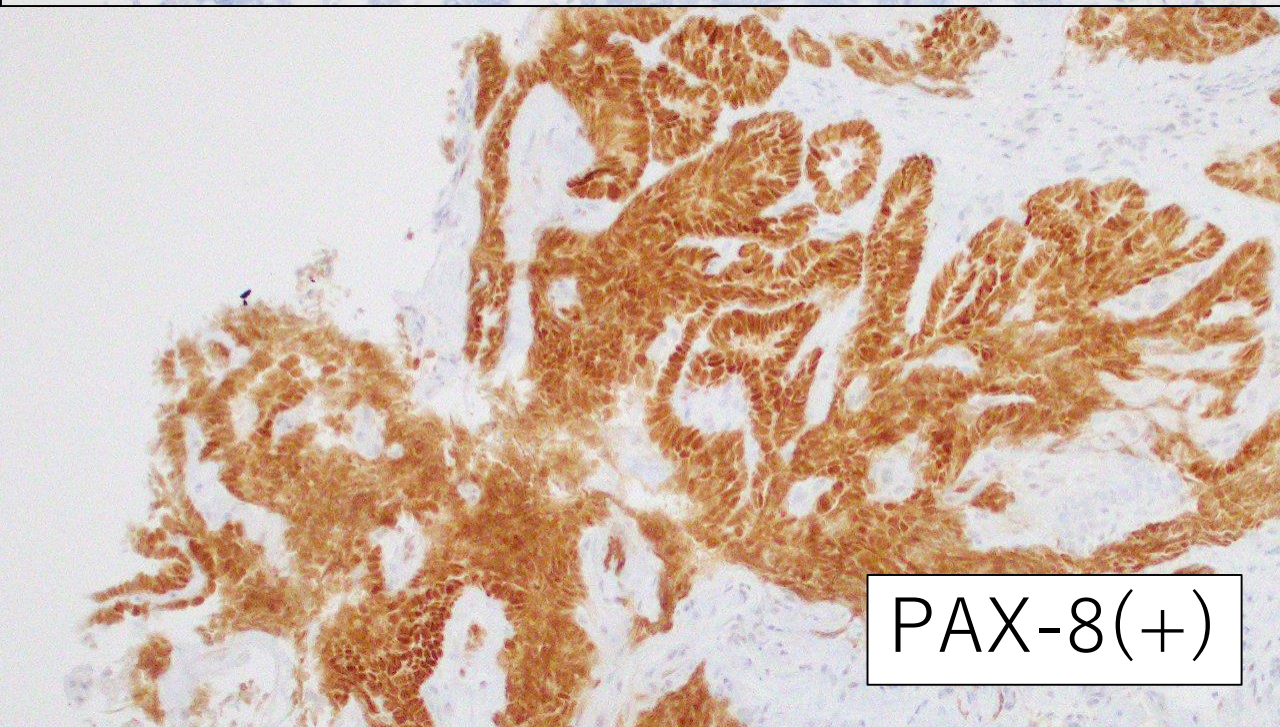
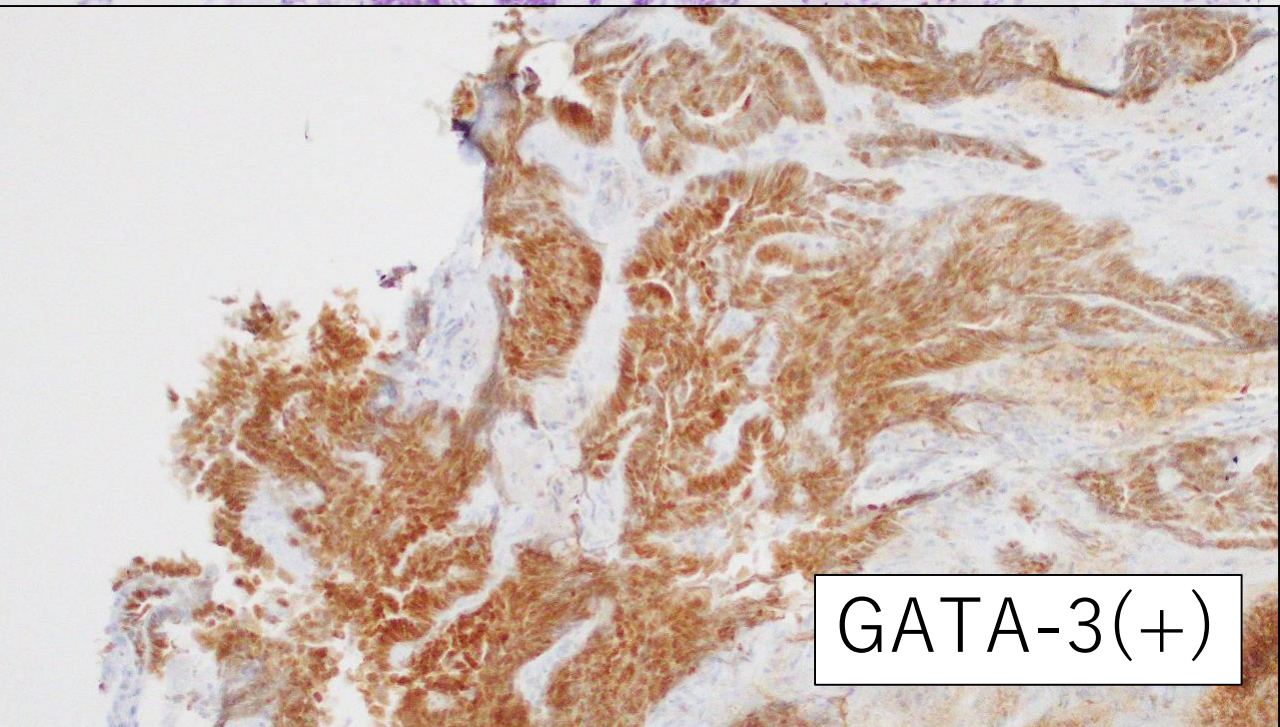
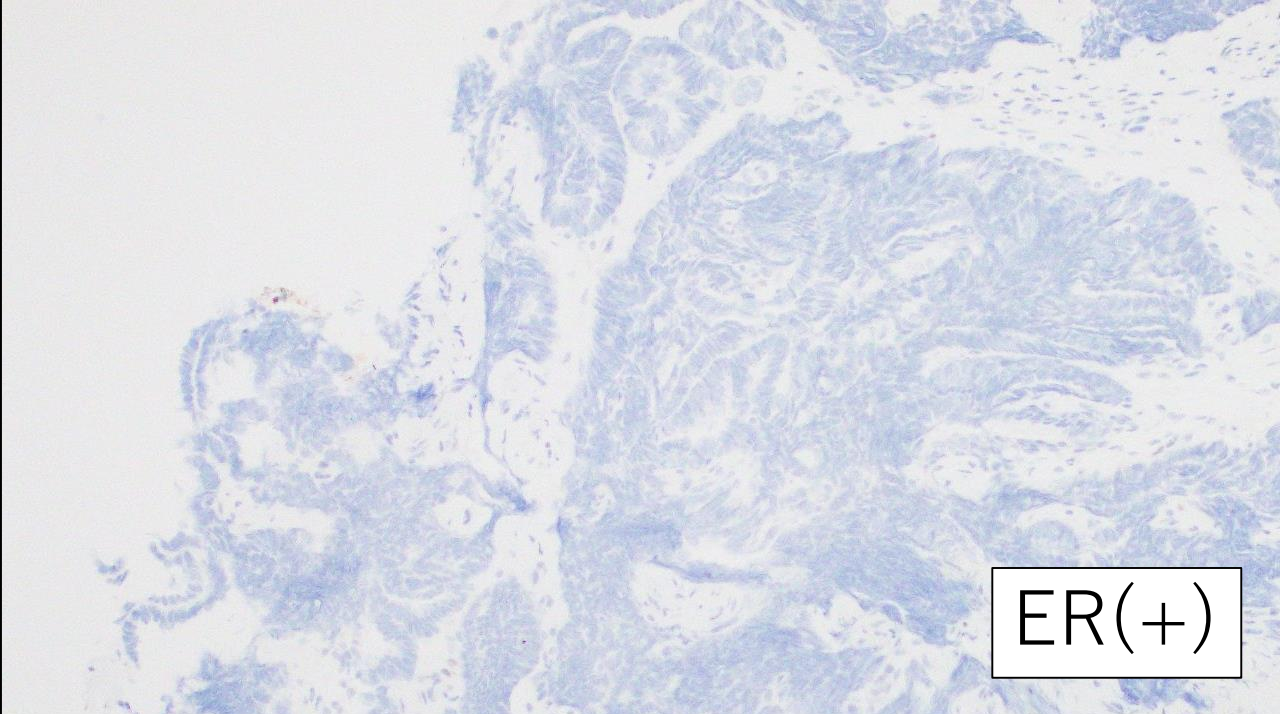
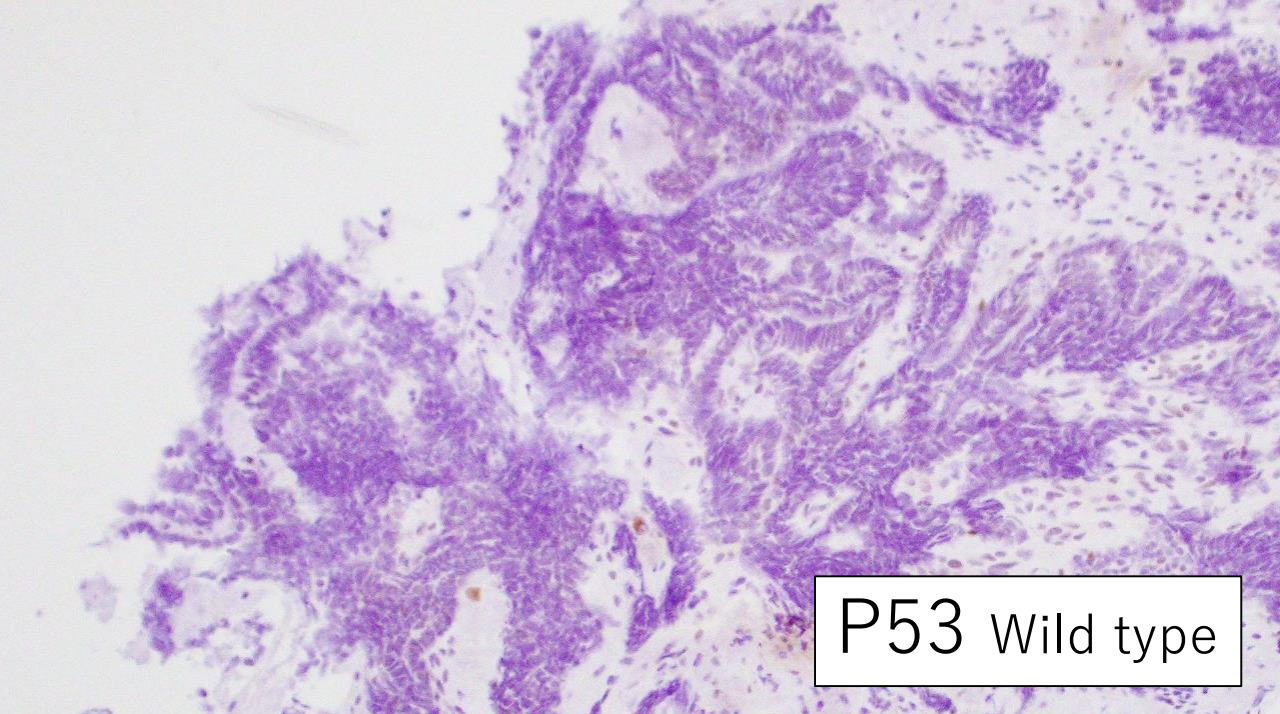


HE x 20



HE x 40





解答

1. 肺原発癌（腺癌）

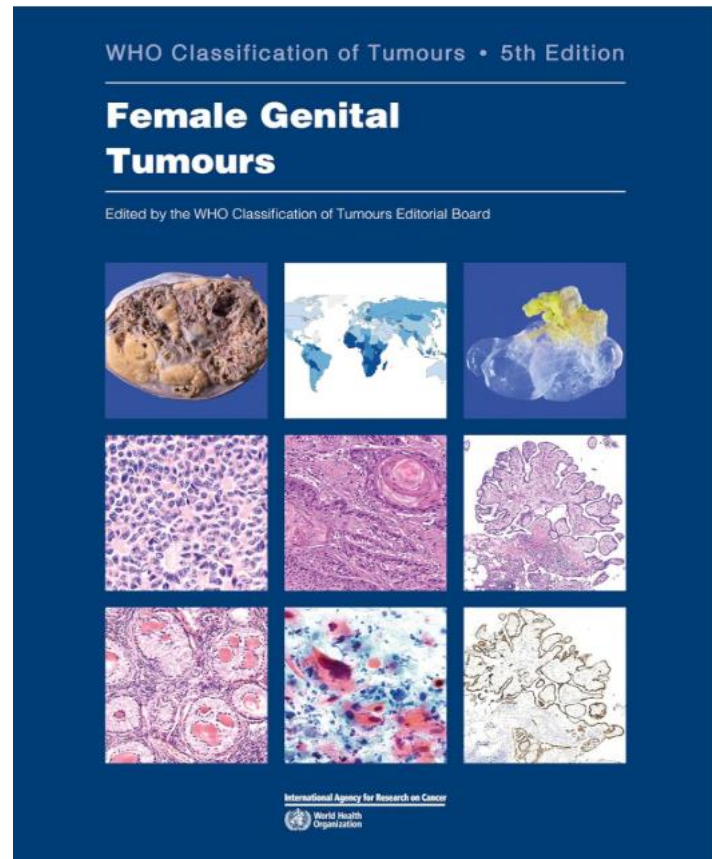
2. 肺原発癌（小細胞癌）

3. 転移性癌（子宮類内膜癌）

4. 転移性癌（子宮漿液性癌）

5. その他 子宮体部中腎様腺癌の転移
Mesonephric-like adenocarcinoma

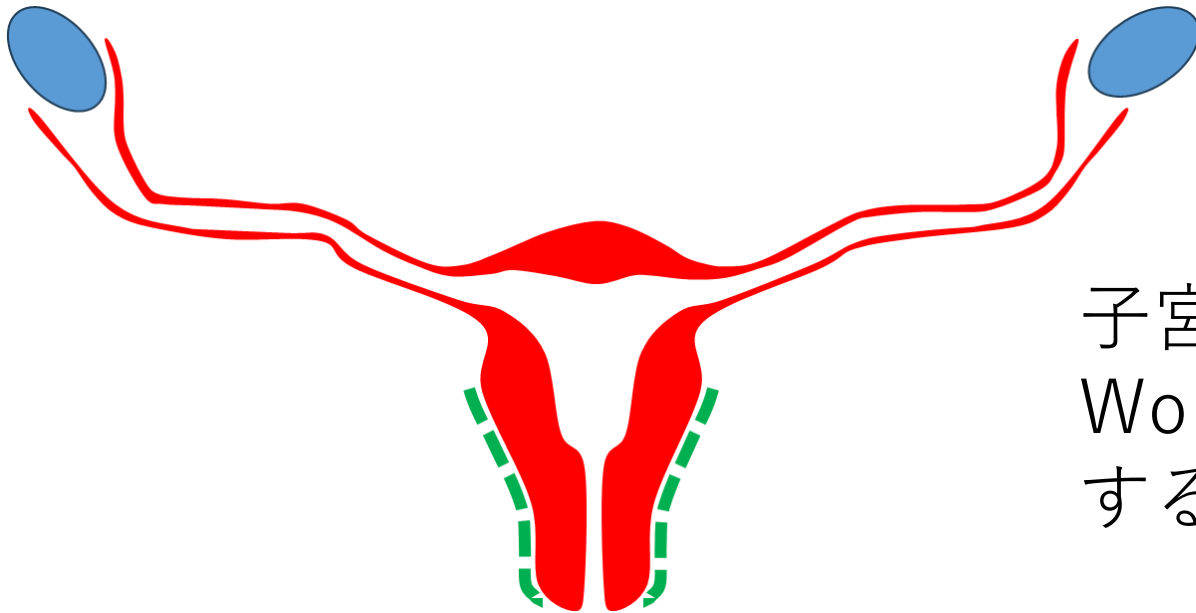
中腎様腺癌 (Mesonephric-like adenocarcinoma) とは



2020年WHO分類第5版にて
新たに掲載された、
子宮頸部中腎癌に類似した組
織形態を示す稀な組織型。

中腎様腺癌 (Mesonephric-like adenocarcinoma) とは

子宮頸部中腎癌は Wolff 管の遺残（**緑線**）から発生するため、
子宮頸部側面や腔側壁に好発するが、
子宮体部中腎様腺癌は Muller 管由来（**腔上部、子宮、卵管、卵管采**）
の可能性が考えられている。



子宮体部中腎様腺癌とするためには、
Wolff 管との関係性がないことを確認
する必要がある。

中腎様腺癌

(Mesonephric-like adenocarcinoma) とは

- ・ 子宮体癌の約1%と稀な腫瘍
- ・ 好発年齢：50～60歳代（発症年齢 20代～90代）
- ・ 主訴は不正出血が多いが、無症候で他検査にて偶発的に発見されることもある
- ・ 6割が進行癌で発見され、遠隔転移は肺が多い
- ・ 高分化類内膜癌に比べ予後不良

中腎様腺癌

(Mesonephric-like adenocarcinoma) の組織像

- ・ 管状、乳頭状、充実性の増殖を示す
- ・ PAS陽性の好酸性硝子様物が管腔内にみられる
- ・ 細胞は N/C 比が高くクロマチンは濃染性
- ・ 扁平上皮化生は見られない
- ・ 免疫染色にて以下の染色態度を示す
ER(-)、TTF-1 (+)、PAX-8(+)、GATA3 (+)
p53 (Wild type)

中腎様腺癌

(Mesonephric-like adenocarcinoma) の細胞像

- 背景は血性（壊死物は見られない）
- 立体的で密な細胞集塊の出現
- 乳頭状、管状、シート状、充実性など多彩な構造を取る
- 構成細胞が単調
- 核クロマチンは顆粒状増量で均一
- 核縁が肥厚し厚みが均一
- 核皺や核内封入体が出現
- 腺管内に好酸性硝子様物
- 扁平上皮化生は見られない